

真野の子ども

2019. 6. 28 発行

真野小 子どものやくそく



真野小学校には、「真野小 子どものやくそく」があります。これは、真野小学校に通う子どもたちみんなが気持ちよく生活を送れるために作られています。4月はしっかりと守れていた子どもたちも、6月は少し気のゆるみがあったのか、守れていない様子が見られました。

特に、学習に必要なものを持ってきていることはトラブルにつながることもあります。多すぎるペン、おもちゃの消しゴム、コンパクトに収納できる文房具。子どもたちにとってはとても魅力的な物です。

しかし、本当に学習に使うために最適な物でしょうか。学習よりも文房具に意識がいき、集中できていないことや、友だちと見せ合いをしたり、中には欲しそうにしていたりする様子も見られます。

学校では、この約束が守れているか、学習に必要なものは持ってきていないかを子どもたちと再確認をしました。また、物を大切にすることを意味からも必ず記名をお願いします。学校にはいろいろな落とし物が届いています。記名があると本人にもどってきますが、ほとんど記名されていません。ご家庭でも、今一度お子さんの持ち物を見ていただき、学習に最適な道具かどうか、この機会にご確認をよろしくをお願いします。

まのしょうこ
真野小 子どものやくそく

こうないせいかつ
校内生活のきまり

1. 集団登校をする。
2. 標準服を着て登校する。名札は学校にいる時だけつける。
3. 忘れ物をして、取りに帰らない。
4. 決められた通学路を通る。
5. 学習に必要なものを持ってこない。
6. シャープペンシルは持ってこない。高学年は、赤ボールペン1本を使ってもよい。
7. 職員室前廊下は、必要以外は通らない。
8. 廊下は安全に気をつけて歩く。
9. 窓から身を乗り出したり、観音台の上に乗ったりしない。
10. 駐車場では遊ばない。給食車の入り口を通らない。
11. 職員室に入るときは、後ろの出入り口を使い、「失礼します。〇年〇組〇〇〇〇です。〇〇先生はいらっしゃいますか。失礼しました。」とはっきり言う。
12. 体操服、赤白帽を忘れたら、体育は見学する。
13. 体育館へ行く時は、体育館シューズを持っていく。
(ただし、全校で行く時は、教室ではきかえていく。)

「ろう下をしずかに歩こう」

今年は、例年よりも遅い梅雨入りとなりそうです。雨の日には外へ遊びに行けず、もどかしそうな子どもたちの様子が見られます。校舎の中を走ってしまうと、大きなけがにつながる恐れがあります。そこで、ろう下をしずかに歩くためにクラスでどうすれば良いかを話し合い、めあてを決めて取り組んでいます。雨の日だけでなく、普段から廊下を落ち着いて歩き、けがのないように過ごせるよう見守っていきたいと思います。